

## 平成 29 年度第 2 回建設部会見学会の報告 「UR うめきた 2 期地区・JR 東海道線支線地下化事業」

開催日：平成 29 年 11 月 30 日（木）14：00～17：00

開催場所：UR うめきた 2 期地区（地区内 JR 東海道線支線地下化工事現場含む）  
施行者：UR 都市機構，面積約 24ha，事業期間平成 27～38 年度（予定）

参加者数：20 名（建設部会員 12 名，非会員 8 名）

### ～「みどり」と「イノベーション」の融合拠点として、うめきたに新しいまちが誕生する～

国際競争力を高め、関西の発展をけん引するリーディングプロジェクト、うめきた 2 期地区の開発が進むなか、UR 都市機構さまのご協力により第 2 回現場見学会を開催いたしました。

今回は、定員超過のため第 1 回うめきた 2 期地区見学会にご参加いただけなかった方々に向け、第 2 回目の開催です。併せて JR 西日本さまのご協力により、新駅の築造が進む JR 東海道線支線地下化工事現場も見学してまいりました。

### 1. 質疑応答

Q：当事業で一番大きなリスクは何か。

A：複数事業が輻輳し関係者が多く、大阪市も含め  
工程調整の定例会議を開催している。  
地下埋設物の移設も含め、一部の遅れの発生が  
全体に影響するなど、全体の工程管理が重要。

Q：「ハブ関西」として目指すものは何か。

A：関西を元気にするイノベーションの拠点に。先行開発区域  
の中核機能は民間が運営しているが、第 2 期地区では公民連携の運営を目指す。  
例えば、「みどり」のフィールドを活用し、そこに集まる人々からデータを取りつつ新しいものを開発していくなど、今後のコンペで民間の皆様にご提案していただく。  
また、防災機能を備えた「みどり」の空間に。

Q：先行開発区域では民間によるエリアマネジメントが実施されているが、そのメリットは。

A：まち全体の質を上げたことで土地の価値、地価が上がった。2017 年現在、関西地価ランキング 1 位に。



全体事業の説明



現場見学の様子 1



現場見学の様子 2

うめきた 2 期地区は、新駅開業（平 3 5 春）から順次まちびらきをし、翌年夏頃に概成予定です。  
世界をリードするイノベーションの拠点、そして世界の人々を惹き付ける新たなまちの誕生に期待しています。

文責：河野 千代